

写真で振り返る 今昔物語

その37

相野谷川

鮎田地区



昭和36年

提供：産屋敷明正氏

今回は、新宮市の産屋敷明正さんからご提供いただいた、台風により冠水した鮎田地区の写真をご紹介します。

この写真は、昭和36年に来襲した台風の後に撮影されたもので、写真を見ると、あたり一面が水に浸かっており、並んで係留しているプロペラ船や電柱の上部だけが出ている様子が伺えます。

産屋敷さんにお話を伺ったところ、当時、台風の襲来が予想されるときは、熊野大橋付近にあったプロペラ船乗り場などから相野谷川に船を避難させていたそうです。

また、この写真の下流部では、昭和23年のアグネス台風、昭和28年の13号台風などによる災害を契機に、熊野川からの逆流防止を目的として昭和32年に相野谷川河口部に旧鮎田樋門が造られており、大洪水から逆流を防止していました。

その後施設の老朽化などから改築され、平成8年に現在の鮎田水門が完成しました。



現在

— 昔の風景写真を大募集！ —

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限って、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただき、詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

つむぎつむぎ

LGBT特集

担当者からの一言がきっかけで始まった今回の特集は、まったくの無知からスタートして、本を読んだり、お話を聞いたりすることで、いろいろなと学ばせていただきました。僕自身それまでまったく意識せずに話していた内容が、見た目の性別を前提にしていたり、また、その前提を押し付けていたり、たくさん反省すべき点が見つかったり、性のグラデーションといったそれまで知らなかったことを知りました。この特集で少しでも性のあり方に興味を持ってもらえれば幸いです。

また、広報の作成にあたり、失礼なことを聞いてしまっても、親切にインタビューに答えてくださったみなさん、ありがとうございます。

（風船職人？ 愛野 裕基）

みなとフェスティバル

みなさん、今年のみなとフェスティバルはお楽しみいただけただけでしょうか。

普段、取材に行くとき「いいカメラ持ってるね」とよく声をかけてもらうのですが、AKB48チーム8

のファンの方々はそんな僕らもびっくりするほど大きなカメラを構え、息の合った掛け声や応援をしながら撮影していました。

ファンの方が楽しそうに一生懸命、大きな声で応援しているのを見ると、あれだけ夢中になれることがあると楽しいだろうなとくちやましくなりました。

（夢中になれるものを探し中 田中 健太郎）



カメラを構えるファンの方々



広報担当 田中けんたろう



広報担当 田中けんたろう